

## 自由記載（抜粋）

1. 高額療養費の交付を受けていますが、グリベックは8週間分で2ヶ月に1度の自己負担でよかったのが、今、スプリセルは14日分しか処方を受けられないので毎月25,000円ほど支払っています。また住宅減税を受けていると医療費還付ももらえず大学生と高校生の子供がいて毎月生活が苦しいです。住宅ローンの支払いも負担となりがん医療費は無料にして欲しい。
2. 新薬の薬価がとても高いので、高額療養費で戻ってくる3~4ヶ月のタイムラグの間の遣り繰りが大変だった。国がいくらかその間負担してくれるといいのに…と思った。子供がいるので出費が多く、服1枚買うのにも考えてしまう。副作用など自分の体に合う、合わないが薬を選ぶ基準となるので、薬価で薬は選べない。QOLに関わることなので、少しでも負担が軽くなるとありがたい。
3. 再発のリスクを少しでも減らすために医師の方針に従い治療を受けていますが、特にハーセプチンが高額で100万円位かかります。放射線も毎日通院で、重なると、自分の事とは言え大変です。今後乳癌は増える傾向にあり、経済的負担から治療を断念する方のいないよう何らかの救済をお願いします。
4. 自己負担限度額はありがたいが、一般（80千円）、上位（150千円）、低（35千円）の差が大きすぎ、上位の中の低所得者は、一般との差が大きすぎる。イレッサよりタルセバが有効の可能性があっても、薬価がこのまま、自己負担の増大となる可能性がある。就業不能扱（退職）無収入と高額費のダブルのマイナスが苦しい。新薬価が高すぎる。私企業でなく、国家的医療の取組が欠落している。
5. 通院の際にいくら持っていけばいいのか、かかる費用が不安になります。負担額が少しでも軽くなることを望みます。
6. 毎月44,400円の出費は、年金生活者にとって大変です。長生きしたいと思わなくなります。手術して済めば良いです。早くジェネリックにならないかと思います。
7. 勤務している会社からの援助があるため現在は非常に助かっていますが、定年を迎えた後や、いつまで働けるかその時の医療費のことを考えると不安です…。経済的なことは大きいです。
8. 現在高額療養費制度によって、月額44,400円以上は3ヶ月後には戻ってきます。これはかなり助かりますが、サリドマイドとベルケイド、ソメタなどを使用している関係上、44,400円は毎月必ず掛かってきます。年金暮らしの身としてはコンスタントにかかる毎月の44,400円は負担であるのは確かです。ヨーロッパの多くの国のように医療費無料化にもっていくにはどうしたらいいか考えなければならない。
9. 治療中の薬は1日8錠（スプリセル錠1、他が7錠）服用している。高価な薬だが、命にはかえられないので、欠かさず大事に飲んでいく。
10. 病院からの投薬は2週間に1回だが、非常時や災害が起きた時、薬を受けとることができないことになる。命にかかわる薬であるから、災害時を想定して、4週間分くらい前渡しを是非お願いしたい。
11. 血液癌の為、概算140万円くらい掛る。高額医療補助が38万円くらいあるので、自費出費が

約 100 万円かかる。年金暮らしの者には大きな負担だ。経済的負担を少なくして欲しい。

12. 働けなくなったら医療費が払えなくなるという不安。仕事を辞められないという恐怖。1 日も早く、経済的、社会的不安から解放され、治療と向き合い、がんと仲良く共存できる日がくることを祈ります。
13. 抗がん剤はじめがん医療は総て高額の為、家庭の負担が重くのしかかって来るので一般と同様に保険が効くような形にしてほしい。又、がん患者の場合は病院の治療と合わせて食事療法、温泉治療、気功等の民間療法を取り入れている方が殆どだと思いますので、病院だけでなくそういった治療にも保険が効くような、あるいは医療費還付が出来るようなシステムを考えてもらいたいものです。
14. 現在妹と二人暮らし、無職で預金を取崩して月 20 万円位かかります。年金をいただいても月約 10 万円ですので支払には足りません。いつまでもつか不安です。多発性骨髄腫なので一生治らないと言われました。これからの支払いが大変です。毎月の保険料支払いも大変です。民間保険は満期がくると次は入ることでできません。民間保険料の支払も大変です。これから 1~2 ヶ月入院予定です。支払いが不安です。
15. ガンマ・ナイフ治療を〇〇市内で、できるようにしてほしい。
16. 今、高額療養費で自己負担は 44,410 円ですが、月々の生活で医療費 4 万円はきついし、もどるといっても 4 ヶ月後である。たとえば、今月 17 万以上支払っているのに、高額療養費の支給は 49,000 円でした。いつまでたっても家計が苦しく、自己負担が 4 万円の気がしない。難病指定だと月 10,000 円いくらか、負担額が決まっていると聞きました。がんの治療も窓口でいったん支払うのではなく、申請すれば月 10,000 円~支払うだけにするとか、自己負担額以上支払わなくて済むようにしてほしい。必ず治るといふなら、高額でもしかたないかと思うこともあるが、治らないどころか、効果があるのかわからない術後の補助治療に 100 万円以上支払って、あつというまに再発したので、切なかつたです。
17. 先が見えない病気なのでいつも経済的不安を持っている。
18. 治療が長期期間の為、仕事に影響が出まして、収入の減となり預金の取り崩しをしており、今後の生活に支障があり心配をしております。
19. がんになって初めてわかりました。医療費の負担がとても大きいですね。手術や入院の時は、保険会社からの給付金でとても助かりましたが、その後の抗がん剤治療は通院なので保障がなく…パートもがんの治療の為辞め無収入、夫(71才)の年金のみの生活は(これから長期にわたるハーセプチンの治療費)将来不安です。しかし希望をもって前進するのみ! たったひとつの尊い命への投資と思い治療に専念します。
20. 抗がん剤の点滴が高額な事。1 回目の会計でわかりました。事前に説明が欲しかったです。
21. がん保険に加入していない為、入院だけの保険で役に立ちません。今は全て外来治療で入院もできません。働かなければ収入がない為、治療費も払えません。働くには、身なりをちゃんとしないと働けないし、とても大変です。世の中お金のない人は何もできません。
22. 高額医療費がもどるのに 5~6 ヶ月かかるのを少しでも早めてほしい。

厚生労働科学研究費補助金  
(第3次対がん総合戦略研究事業)

「がんの医療経済的な解析を踏まえた患者負担最小化に関する研究」  
(H19-3次がん-一般-033)

総括・分担研究報告書 (平成21年度)

発行責任者 研究代表者 濃 沼 信 夫  
発 行 日 平成22年3月  
発 行 所 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1  
東北大学大学院医学系研究科 医療管理学分野  
電 話 022-717-8127  
FAX 022-717-8130

